

今月のレシピ

ちんすこう

材料 ラード 125g (常温に戻し柔らかくしておく)
薄力粉 250g
さとう 175~200g (きび砂糖、粗糖が合う)

- 作り方 ① ラードと砂糖をよく混ぜ合わせる
② 粉とよく混ぜ合わせ好みの型を作る
③ オーブン 150~160 度で 30 分位焼く

*ふくらむので鉄板に並べる時、間隔をおく

*砂糖を黒糖にしたり小麦粉にいろいろなパウダーを入れてもよい

*焼きあがっても冷めるまで、さわらない (さわるとくずれる)

レシピで一句

沖縄忌 「ざわわ」の歌の 胸に沁み

小澤 葉美

里の暮らし (20)

平成 24 年 7 月、竹田市を見舞った豪雨災害は、過去の 2 回に比べ^{じんだい}甚大なものとなった。復旧工事は、すぐに始まった。私の畑の真ん中を仮設道路が走り、大型ダンプが通るたびに古びた我が家は揺れた。災害から 3 年目の春に工事は完了し、流失した堤防、道路、畑は元どおりになった。対岸の集落に市営住宅、こども診療所、児童公園、文化会館が新たに建設され、この^{きんぺん}近辺は見違えるようになった。

浸水した我が家も、一人でこつこつと泥をかき出し、床板を張り替え、何とか寝泊まりできるようになった。被災し住み慣れた家を離れた人のことを思うと、ここで暮らせて本当にありがたい。災害から 8 年経過した今、この集落は一段と高齢化が進み、一人暮らしの世帯も多くなったが、お互いが支えあいながらなんとか暮らしている。

我が家は、敷地の一角をごみ集積所に提供し、畑の^{あびみち}畔道は皆の通り道だ。そうすると畔や石垣の草刈りを近所の人がしてくれる。空き家の草刈りをしてあげるかわりにその家のカボスや^{ゆず}柚子をいただく。野菜や花の栽培法をお互い教え合い、種子をやり取りする。人が亡くなれば、たとえ家族葬でも皆が^{ともだち}弔いに行く。これは度重なる災害にもめげず住み続けてきた人々の穏やかな人間関係の表れだろうか。(続)

お知らせ①

おやつ作りと絵本とあそぶ会は毎月最終火曜日に公民館別館にて活動しています。子どもも大人もゆつくりゆつたり過ごせるひとときです。是非参加ください。(二月は十六日です)

お知らせ②

敷戸校区公民館は開館しています、各自感染対策をされてご利用ください。なお、現在飲食は許可していません。